



埼玉県報

号外第11号
令和2年(2020年)
5月1日
金曜日

目次

条例のあらまし

- 埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例のあらまし（財政課）

条例

- 埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例（財政課）

本号で公布された条例のあらまし

埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例（埼玉県条例第三十二号）（財政課）

一 趣旨

新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成二十四年法律第三十一号）附則第一条の二第一項に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。）のまん延を防止し、並びに県民に対する医療提供体制の整備並びに県経済の回復及び活性化を図るための事業の推進に要する経費の財源に充てるため、埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金を設置するための条例の制定

二 内容

基金の設置、積立て、管理、処分等について規定する。

三 施行期日

公布の日

条 例

埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例をここに公布する。

令和二年五月一日

埼玉県知事 大野 元 裕

埼玉県条例第三十二号

埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例

(設置)

第一条 新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成二十四年法律第三十一号）附則第一条の二第一項に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。）のまん延を防止し、並びに県民に対する医療提供体制の整備並びに県経済の回復及び活性化を図るための事業の推進に要する経費の財源に充てるため、埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第二条 基金として積み立てる額は、当該積立てをする年度の一般会計歳入歳出予算で定める額とする。

(管理)

第三条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(運用益金の処理)

第四条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に編入するものとする。

(処分)

第五条 基金は、第一条に規定する事業の推進に要する経費の財源に充てる場合に限り、これを処分することができる。

(委任)

第六条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例は、令和四年三月三十一日限り、その効力を失う。